

令和3年度かみふくおか作業所事業報告  
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

はじめに

障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）の事業については、令和3年度かみふくおか作業所事業計画に基づき、利用者の意思及び人格を尊重した支援を心掛けるよう努め実施しました。支援については、夏季の猛暑と大雨、年間を通した新型コロナウイルス感染症と8月に発生したクラスターへの対応を図りました。

生産活動においては、感染防止と安全な作業環境を確保するため、作業内容の検討と作業環境の整備に取り組みました。また、年齢や体力等を考慮した作業内容の検討が課題として挙げられています。

## 1 支援の充実について

### (1) 作業支援について

今年度は、8つの作業内容（資源回収作業・古本販売作業・古着作業・缶つぶし作業・清掃受託作業・バザー・リユース品作業・受託等物品販売、解体作業）を実施しました。新型コロナウイルス感染症により、自主企画イベントが年度間中止となりました。

#### ア 作業について

##### (ア) 資源回収作業

利用者と地域との関わりを深め、他の作業量確保のため、作業所がある地域の約3,000世帯の方々のご協力で古紙などを定期的に回収させていただきました。今後は、リユース品回収への特化と、回収ルートを活用した商品販売の検討が課題です。（新型コロナウイルス感染症関係では、協力者への配慮が課題となりました。）

##### (イ) 古本販売作業

通販サイトへの出品関係では、希少性のある物品とイベント用の本の出品により、出品数の上限に達してしまい制限をかけられてしまいました。また、一方のサイトにはDVDやCDの出品をしました。新規古本提供協力者の開拓の検討を進めていますが、実効性のある事業展開を見出せていません。（新型コロナウイルス感染症関係では、イベント販売品の代替となる大型ネット通販サイトへの参加が急務の課題となってきました。）

##### (ウ) 古着販売作業

イベント中止により、一般古着の収集を停止としました。

##### (エ) 缶つぶし作業

室外作業による寒暖対策と衛生・安全への配慮、必要な備品整備に努めるとともに、利用者と支援員が注意事項等の確認をしました。また、作業環境の整備を図り、手順を明確にし、利用者の作業理解や積極性の促進を図りました。

##### (オ) 清掃受託作業

官舎公園とコミュニティ公園の清掃作業を受託、実施しました。

(カ) バザー品・リユース品販売作業

イベント中止により、作業所前で小規模な無人による販売を継続しました。  
ネット販売への移行には古本同様の課題があります。

(キ) 受託等物品販売

川島町の農家からお米を仕入れ販売を行い、米価の変動による販売価格の検討を行いました。また、きょうされん物品販売の価格の見直しを図りました。

(ク) 解体作業

アルミ缶類も古紙同様に回収量が減ってきたことから、パソコンや家電を解体し、金属種別の販売を行いました。

イ 就労支援計画の実施と検証について

今年度の利用者一人あたりの工賃平均月額は、32,864円(延べ利用人数221人)でした。特に、重度障害の方の作業確保は課題として挙げられており、利用者の平均年齢の上昇や重度障害の方の状況等を考慮し、適切な作業活動等の提供を行えるよう徐々に検討する必要があります。

(2) 生活支援について

ア 利用者の主体性を高める取り組み(エンパの会)として、行事の内容等を自己決定するために必要な社会生活スキルの学習や情報提供等を行う予定でしたが、コロナ禍の影響により行事が実施できず、取り組み方法の検討が課題となりました。

イ 「ごちそうディ」を定期的実施し、作業に取り組む意欲や楽しみにつながる機会をもちました。

ウ 送迎希望者に送迎を実施しました。また、自力通所の方には、通所経路の安全確認等を行いました。

エ 健康診断の実施や感染症の感染予防対策を図り、健康維持・管理に努めました。

オ 普段生活している地域社会の中で、日常あまり経験出来ないことを楽しく経験することを目的に外出等を予定していましたが、実施出来ず事業所で行える別の企画で対応し、気分転換を図りました。

2 円滑な運営と業務の推進について

(1) 事業所の支援における方針や総括については職員間で協議・共有し、適切な支援を行えるよう取り組みました。

(2) 支援内容の向上を図るため、作業環境の整備や支援課題の解決に向けた取り組みを積極的に行いました。

(3) 市民への理解と協力を広げるため作業所新聞『かみ★ふくおか』を毎月発行(通巻378号)、月約3000部配布しました。また、SNSに作業所の出来事などを発信しました。

(4) 火災の発生における二次災害を防止するとともに、利用者及び職員の安全を確保するため、火災に対する訓練と作業所と自宅までの緊急時送迎訓練を行いました。

(5) 職員の障害に関する知識と技術向上のため、自傷・他害行為や行動障害について利用者に即した支援内容の検討を継続して行いました。

### 3 家族との連携について

- (1) 保護者会についてはコロナ渦のため実施せず、個別の連絡方法等により情報共有に努めました。
- (2) 利用者・家族との個別面談を実施し、状況や意向等について把握し、今後の支援に生かせるよう確認しました。

### 4 地域との連携について

- (1) 市内、上野台団地をはじめ、その他の地域での定期的な資源回収や、連絡を受けての訪問回収等を通じ、地域住民との繋がりを保っています。多数の住民の方々からご協力を得て事業を進めることができました。
- (2) 大学や短期大学等からの実習生の受け入れを行いました。
- (3) 地域の行事に参加し、地域住民との交流の機会をもちました。

### 5 日中一時支援事業について

利用はありませんでした。

かみふくおか作業所業務報告  
(令和3年 4月 1日～令和4年 3月31日)

1. 利用者の現況 (令和4年3月31日)

(1) 地域区分 (単位:人)

地域	富士見市	ふじみ野市	三芳町	その他	計
就労継続支援B型	0	18	1	1	20

(2) 障害の程度 (単位:人)

	OA	A	B	C	身障	合計
男性	6	9	1	0	1	17
女性	0	1	2	0	0	3
合計	6	10	3	0	1	20

(3) 障害支援区分 (単位:人)

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	未実施	合計
男性	1	5	8	2	0	0	1	17
女性	0	1	0	1	1	0	0	3
合計	1	6	8	3	1	0	1	20

2. サービス利用状況 (令和4年3月31日現在)

サービス	開所日数 (日)	延べ利用率 (人)	1日の利用平均 (人)
就労継続支援B型	229	4,151	18.1
日中一時支援	0	0	0

3. 利用者平均工賃

サービス名	平均工賃月額 (円)	延べ支払人数 (人)
就労継続支援B型	32,864	221

4. 支援活動

(1) 作業支援

- ・ 資源回収作業、古本販売作業、古着作業、缶つぶし作業、清掃受託作業、バザー・リユース品作業、受託等物品販売、解体作業
- ・ 出張トトロ販売は中止

(2) 生活支援

- ・ ごちそうデイ、忘年会 (施設内)、新年会 (施設内)、エンパの会

5. 運営管理業務

- (1) 職員会議（月1回）、就労支援会議（月1回）個別支援計画策定会議（年3回）
- (2) 保護者会（コロナにより中止）

- 4月 1階作業室照明工事
- 7月 交通安全管理者講習
- 8月9日～24日 新型コロナクラスターにより事業所閉鎖
- 8月13日 新型コロナウイルス対象殺菌消毒
- 9月13日 健康診断
- 9月17日 避難訓練（火災通報）
- 10月13日 消防設備・機器点検（大室防災）
- 1月12日 水害時の避難計画 事業所内読み合わせ
- 3月16日 消火設備・機器点検（大室防災）
- 3月11日 避難訓練（火災通報）
- 3月24日 年度総括会議

## 6. 研修

- 5・6・11月 事業所内虐待防止研修
- 7月 交通安全管理者講習
- 9月29日 普通救命講習Ⅰ（AED研修）
- 11月26日 法人虐待に関する研修（zoom）
- 12・1・2・3月 法人虐待防止チェックリスト記入
- 3月 法人虐待研修（動画視聴）
- 2月 2日 きょうされん埼玉支部「コロナ禍での余暇活動（たましろの郷）」（zoom）
- 2月 4日 工賃向上研修会（zoom）
- 2月 感染症対策応用研修（動画配信）
- 3月4日～31日 埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修（動画配信）

## 7. 地域関係

- 9月28日 ふじみ野市いきいきクラブ連合会より雑巾の提供
- 11月29日 ふれあい広場
- 2月27日 きょうされん埼玉支部 第4回運営委員会議（WEB会議）

## 8. 視察・見学等の来所

- 1月 竹早教員保育士養成所 実習担当 見学

## 9. 実習生関係

- 2月24日～3月9日 山村学園短期大学（子ども学科1年）2名

## 10. ボランティア関係

ボランティアグループくまのプーさん 毎月第3金曜日（お菓子差し入れ）